

アダージオHG

災害2割加算型変額個人年金保険(アダージオ)

特別勘定の月次運用レポート 2025年5月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険のリスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

- 変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
- 受取総額が一時払保険料相当額を下回ること(元本割れリスク)があります。
- 保険関係費用:ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.30%の割合で資産残高から毎日控除されます。90歳開始年金原資保証特約を付加した場合は特約分の保険関係費用(資産残高に対して年率0.05%)が別途必要になり、合計で年率2.35%の割合で資産残高から毎日控除されます。ただし、マネーファンドの保険関係費用には優遇措置(上限:年間100日まで)があります。
- 運用関係費用:ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.21%程度(税抜1.10%)程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
- 契約管理手数料:毎年契約応当日の前日の資産残高が200万円未満の場合、前年の契約管理手数料として年額4,800円が契約応当日に資産残高から控除されます。全部解約時の資産残高が200万円未満の場合、解約の年の契約管理手数料として一律4,800円が解約時に控除されます。
- 年金管理費:年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
- 解約控除:ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の全部解約、一部解約(ご契約または増額時から7年未満の元本総額の5%相当額までを除く)をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%~2%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
※解約控除対象額は、全部解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

*この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用」)」と「年金受取期間中の費用(「年金管理費」)」の合計額となります。また、特定のお客さまには「契約管理手数料」や「解約控除」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[募集代理店]
株式会社広島銀行

[引受保険会社]
オリックス生命保険株式会社

2506広告審査済

(管)ORI-099

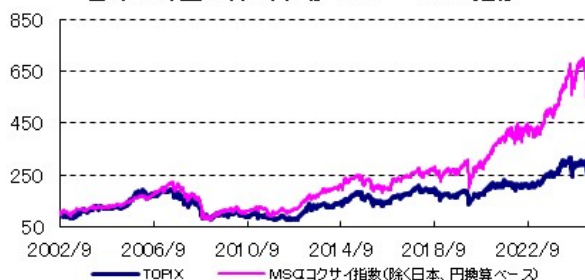
市 場 概 況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	5.33%	2.18%	▲ 0.64%	▲ 1.36%	39.17%
	TOPIX(東証株価指数)	5.03%	4.45%	4.51%	1.05%	46.47%
日本債券	NOMURA-BPI総合	▲ 1.29%	▲ 1.68%	▲ 3.16%	▲ 2.76%	▲ 8.66%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	6.92%	▲ 1.65%	▲ 3.11%	3.77%	54.61%
外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	0.99%	▲ 0.12%	▲ 1.27%	▲ 1.39%	15.86%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	0.91%	▲ 3.88%	▲ 4.56%	▲ 8.21%	12.21%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

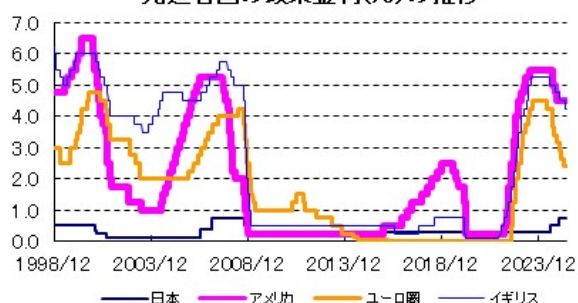


※上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



※上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定(ファンド)グループ

特別勘定と投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産 合計 (百万円)
	株 式		債 券				投資 信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
日本株式ファンド SR	●				シュローダー日本株式オープンVA *	シュローダー・インベストメント・ マネジメント株式会社	96.8%	3.2%	153
日本株式インデックス ファンド225 NKA	●				インデックスファンド225 VA *	日興アセットマネジメント 株式会社	95.8%	4.2%	1,234
日本小型株式 ファンド ML	●				JDF日本小型株ファンドVA *	ブラックロック・ジャパン株式会社	97.1%	2.9%	246
外国株式インデックス ファンド MS		●			インベスコ MSCIコクサイ・ インデックス・ファンド	インベスコ・アセット・マネジメント 株式会社	99.0%	1.0%	48
アジア株式ファンド JP		●			GIMアジア株・アクティブ・ オープンVA *	JPモルガン・アセット・ マネジメント株式会社	99.0%	1.0%	1
外国債券ファンド PJ				●	ピムコ・海外債券ファンド *	ピムコ ジャパン リミテッド	96.7%	3.3%	127
外国債券インデックス ファンド TMY				●	三菱UFJ 外国債券ファンドVA2 *	三菱UFJアセットマネジメント 株式会社	97.4%	2.6%	23
マネー MA			●		三菱 MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	三菱UFJアセットマネジメント 株式会社	97.0%	3.0%	194

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

投資対象の投資信託	運用方針
シュローダー日本株式オープンVA *	主に日本の株式等に投資し、企業の成長性と株価の割安性を考慮した銘柄選定をすることによって、TOPIX(東証株価指数、配当込み)を上回る投資成果の獲得を目指します。
インデックスファンド225 VA *	主に日本株式に投資することによって、日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果の獲得を目指します。
JDF日本小型株ファンドVA *	主に日本の上場株式の中小型株に投資し、Russell/Nomura Mid-Small Cap(配当込み)を上回る投資成果の獲得を目指します。中小型株を中心に企業の収益性、成長性、安全性等を総合的に勘案し銘柄選定します。
インベスコ MSCIコクサイ・ インデックス・ファンド	主に日本を除く世界先進国の株式に投資し、MSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)に連動した投資成果を目指します。
GIMアジア株・アクティブ・ オープンVA *	主に日本を除くアジア各国の株式に投資し、MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)を上回る投資成果の獲得を目指します。
ピムコ・海外債券ファンド *	主に世界各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
三菱UFJ 外国債券ファンドVA2 *	主に日本を除く世界主要国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。
三菱 MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、CP等の短期金融商品に投資することによって、安定した収益の確保を目指します。

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

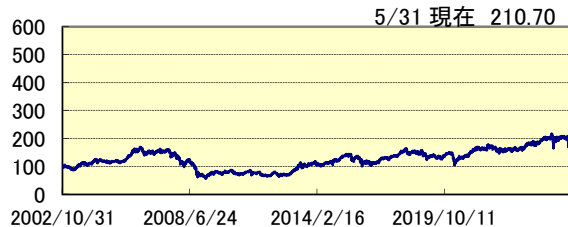
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

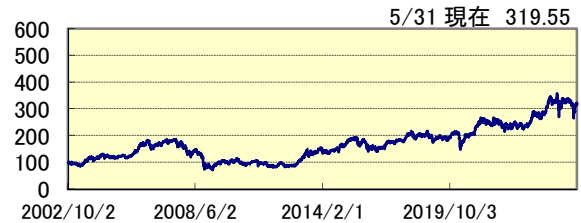
《90歳開始年金原資保証特約付》

日本株式ファンド SR



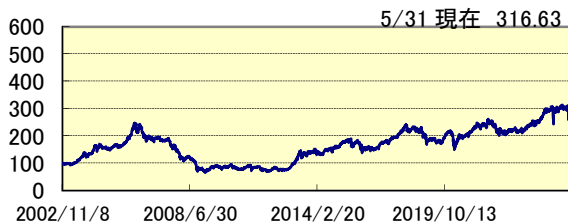
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	6.09%	6.71%	4.99%	4.06%	30.79%	110.70%

日本株式インデックスファンド225 NKA



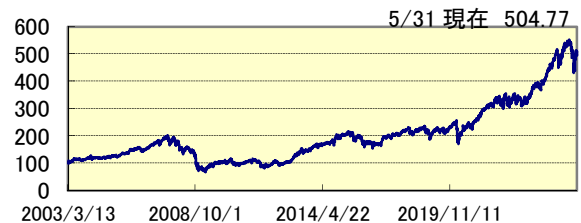
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	4.88%	2.15%	-1.13%	-2.40%	34.44%	219.55%

日本小型株式ファンド ML



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	5.22%	6.95%	4.36%	7.37%	48.06%	216.63%

外国株式インデックスファンド MS



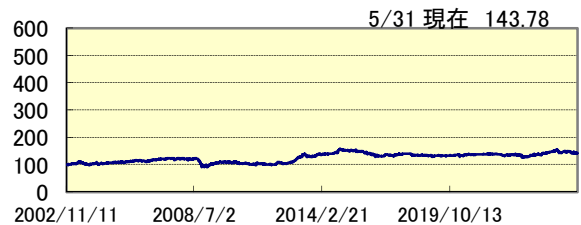
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	6.85%	-1.72%	-3.70%	5.89%	52.70%	404.77%

アジア株式ファンド JP



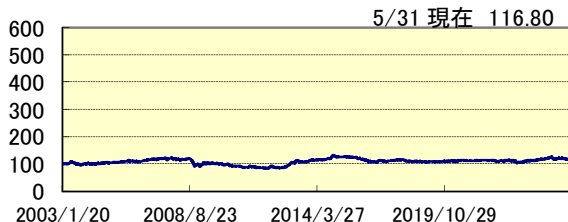
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	9.84%	-3.26%	1.74%	-1.70%	9.35%	363.47%

外国債券ファンド PJ



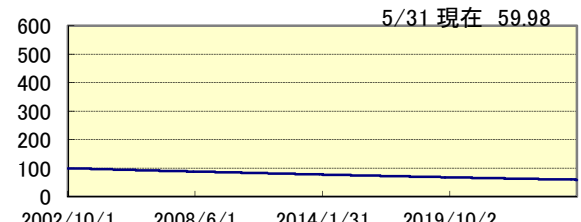
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.82%	-0.70%	-1.77%	-4.52%	7.00%	43.78%

外国債券インデックスファンド TMY



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.31%	-0.89%	-2.57%	-4.61%	4.79%	16.80%

マネー MA



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-0.17%	-0.49%	-1.01%	-2.09%	-6.58%	-40.02%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

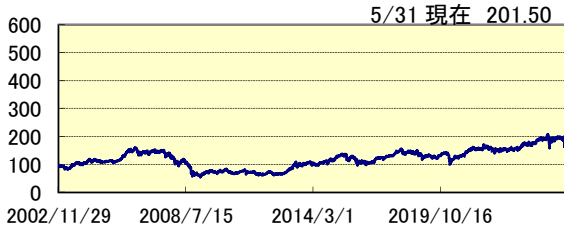
各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

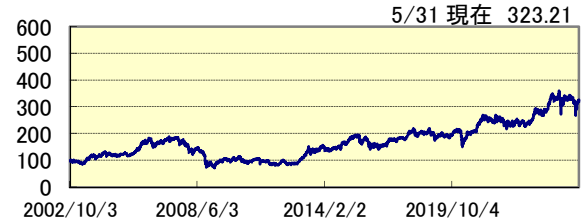
《特約無し》

日本株式ファンド SR



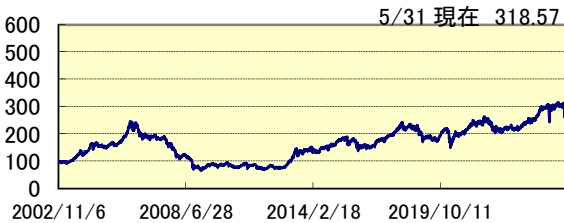
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	6.09%	6.72%	5.02%	4.11%	30.98%	101.50%

日本株式インデックスファンド225 NKA



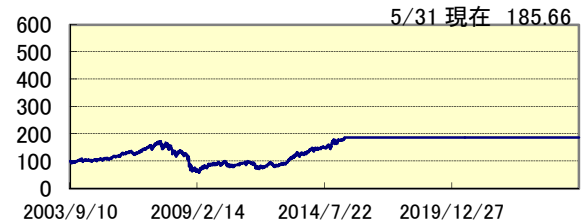
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	4.88%	2.16%	-1.10%	-2.35%	34.64%	223.21%

日本小型株式ファンド ML



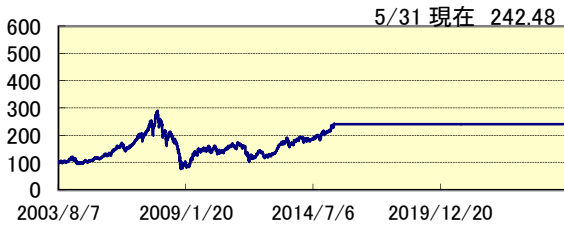
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	5.22%	6.96%	4.38%	7.43%	48.28%	218.57%

外国株式インデックスファンド MS



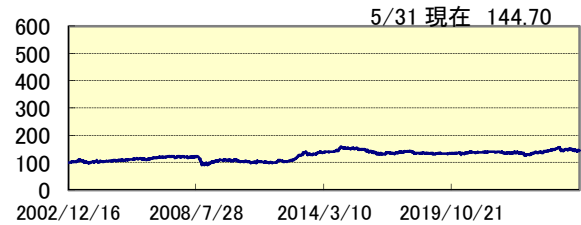
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	85.66%

アジア株式ファンド JP



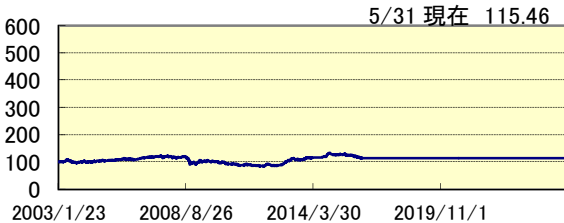
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	142.48%

外国債券ファンド PJ



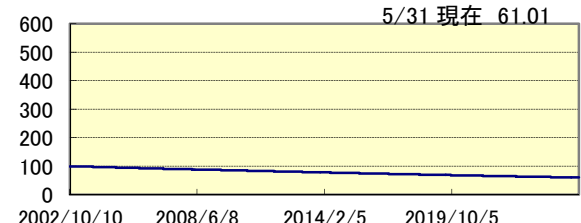
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.82%	-0.69%	-1.74%	-4.47%	7.16%	44.70%

外国債券インデックスファンド TMY



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	15.46%

マネー MA



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-0.12%	-0.12%	-0.47%	-1.53%	-5.95%	-38.99%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式ファンド SR

【特別勘定が投資する投資信託】

シュローダー日本株式オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

主要投資対象

日本の株式。主にシュローダー日本株式マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

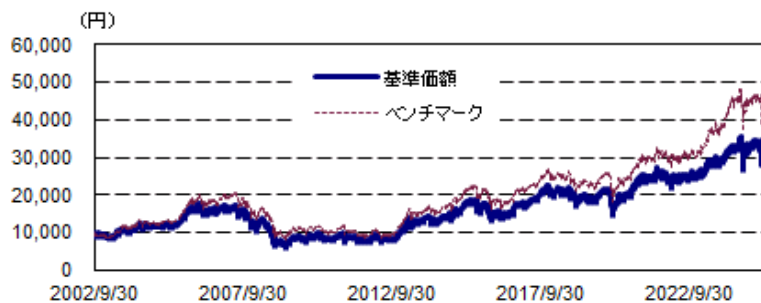
主に日本の株式等に投資し、企業の成長性と株価の割安性を考慮した銘柄選定をすることによって、TOPIX(東証株価指数、配当込み)を上回る投資成果の獲得を目指します。

■ファンド状況

基準価額	35,048円	純資産総額	204(百万円)	組入銘柄数*	73銘柄
------	---------	-------	----------	--------	------

* マザーファンドの組入銘柄数

■設定来の基準価額とベンチマークの推移



* ベンチマークはTOPIX(東証株価指数、配当込み)です。

* 基準価額は税引前分配金を再投資した場合。

■基準価額(税引前分配金再投資)とベンチマークの騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	6.52%	7.60%	6.37%	6.62%	41.36%	250.48%
ベンチマーク	5.10%	5.69%	5.92%	3.58%	57.85%	374.17%

* 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。分配金を再投資した基準価額の騰落率です。

■東証プライム株式組入上位銘柄

	銘柄名	業種	投資比率
1	ソニーグループ	電気機器	5.56%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.23%
3	三菱電機	電気機器	3.63%
4	スズキ	輸送用機器	3.59%
5	伊藤忠商事	卸売業	3.41%
6	住友不動産	不動産業	2.83%
7	三井住友トラストグループ	銀行業	2.75%
8	オリックス	その他金融業	2.72%
9	キーエンス	電気機器	2.57%
10	KDDI	情報・通信業	2.56%

■東証プライム以外の株式組入上位銘柄

	銘柄名	業種	投資比率
1	日本電子材料	電気機器	0.64%
2	セブテーニ・ホールディングス	サービス業	0.57%
3	ハーモニック・ドライブ・システムズ	機械	0.52%
4	テクノ菱和	建設業	0.21%
5	-	-	-

2025年5月30日現在

■組入状況

組入対象	投資比率
株式	98.20%
東証プライム	96.25%
東証スタンダード	1.95%
東証グロース	-
地方単独	-
その他	-
株式先物	0.54%
キャッシュ等	1.27%
計	100.00%

■組入上位業種

	業種名	投資比率
1	電気機器	18.61%
2	銀行業	9.97%
3	化学	9.48%
4	情報・通信業	8.34%
5	輸送用機器	7.94%

■対ベンチマーク オーバーウェイト業種

	業種名	投資比率	ベンチマーク
1	化学	9.48%	4.82%
2	保険業	6.81%	3.43%
3	建設業	4.95%	2.26%
4	その他金融業	2.96%	1.12%
5	不動産業	3.55%	1.91%

■対ベンチマーク アンダーウェイト業種

	業種名	投資比率	ベンチマーク
1	卸売業	4.07%	7.00%
2	精密機器	0.00%	2.05%
3	医薬品	2.08%	4.11%
4	陸運業	0.73%	2.38%
5	小売業	3.23%	4.81%

■過去の分配実績(税引前)

決算期	分配金
第19期(2020年11月20日)	0円
第20期(2021年11月22日)	0円
第21期(2022年11月21日)	0円
第22期(2023年11月20日)	0円
第23期(2024年11月20日)	0円

設定来累計	0円
-------	----

※投資比率は、マザーファンドの投資比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率より算出しております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式ファンド SR

【特別勘定が投資する投資信託】

シュローダー日本株式オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

主要投資対象

日本の株式。主にシュローダー日本株式マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本の株式等に投資し、企業の成長性と株価の割安性を考慮した銘柄選定をすることによって、TOPIX(東証株価指数、配当込み)を上回る投資成果の獲得を目指します。

■マンスリー・コメント

5月は米英の貿易協定合意や米中の追加関税引き下げ合意などトランプ米大統領による関税政策への懸念が和らぎ、日本株は上昇しました。月の前半は、米国の追加関税に関する合意などで景気悪化に対する懸念が後退したことから、戻りを試す動きになりました。8日(現地時間)には米英が貿易協定の合意を発表し、今後の関税協議進展への期待が高まりました。加えて、12日(現地時間)には米中が115%の関税引き下げに合意、投資家の警戒感が和らぐ展開となりました。また、米国のテック企業が堅調な決算を発表したことも相場の支援材料となりました。後半に入ると、為替が円高方向に動いたことや決算発表の一巡で新たな材料に乏しかったことから概ね横ばい圏での動きとなりました。月末にかけては、米国際貿易裁判所の出したトランプ関税の一部差し止め命令が米連邦控訴裁判所で一時停止とされるなどトランプ関税を巡って相場が再び上下する展開となりました。結局、月間ではTOPIX(配当込み)は+5.1%の大幅上昇となりました。

東証33業種別騰落率ですが、上位5業種については非鉄金属がトップ、倉庫・運輸関連、機械、海運、証券・商品先物取引が続きました。一方、下位5業種は電気・ガスがトップ、続いてパルプ・紙、鉄鋼、水産・農林、医薬品となりました。今月は大型株が小型株をアウトパフォームしました。

日本企業の業績に関してですが、FY24年度の企業業績は4期連続で過去最高益更新となったものの、FY25年度の会社計画は若干の減益予想となり、これは概ね市場予想に沿った内容と捉えています。今後の日本株は米国との関税交渉の行方を含め、依然として関税を含めたトランプ政権の経済政策により大幅に変動する可能性が指摘できます。従って、引き続きボラティリティの高い相場展開を予想しています。

日本企業は、2024年度において前年のペースを大幅に上回る自社株取得枠を発表するなど株主還元を積極化させています。東証は資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を求めている、持合い株の解消や株主還元の改善などがガバナンス改革は中期的に進展すると判断できることから、日本株固有の支援材料になると見えています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド225 NKA

【特別勘定が投資する投資信託】

インデックスファンド225 VA(適格機関投資家向け)

【運用会社】

日興アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主にインデックスマザーファンド225受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

「インデックスマザーファンド225」受益証券を主要投資対象とします。同マザーファンドにて主に日本の上場株式に投資して「日興パーラ 日本株式モデル」を活用してポートフォリオを構築することにより、日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果の獲得を目指します。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	53,600円
純資産総額	43.22億円

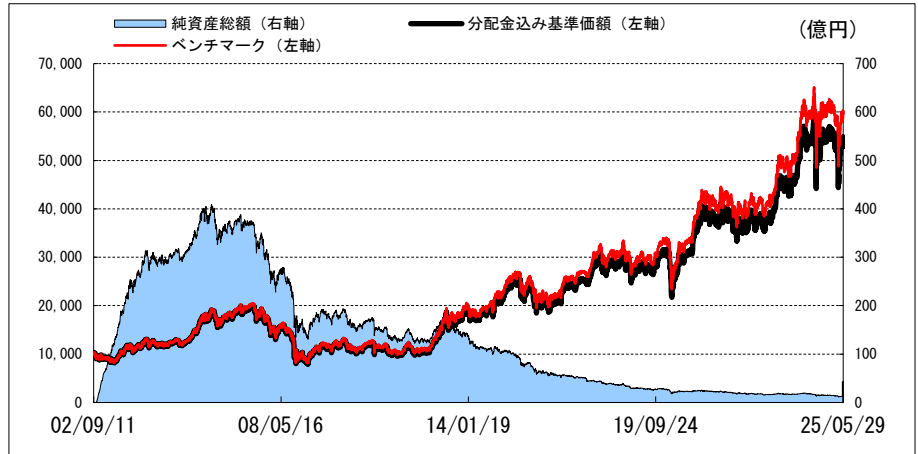
◆資産構成

株式	99.11 %
プライム	99.11 %
スタンダード	0.00 %
グロース	0.00 %
その他	0.00 %
株式先物	0.85 %
株式実質	99.96 %
現金その他	0.89 %

※当ファンドの実質の組入比率です。

◆基準価額の推移グラフ

基準日 2025年5月30日



※基準価額、ベンチマークは、設定日の前営業日を10,000として指数化しています。

※ベンチマークは日経平均トータルリターン・インデックスです。

※2023年9月16日に、当ファンドのベンチマークを「日経平均株価（225種・東証）」から「日経平均トータルリターン・インデックス」に変更しました。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3か月間	6か月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	2.96 %	0.21 %	0.11 %	13.41 %	13.32 %	7.94 %	7.73 %
ベンチマーク収益率	3.04 %	0.39 %	0.55 %	13.93 %	13.81 %	8.42 %	8.19 %
差 異	-0.07 %	-0.18 %	-0.44 %	-0.51 %	-0.49 %	-0.49 %	-0.46 %
ファンドリスク（分配金再投資）			11.73 %	15.01 %	15.20 %	16.40 %	18.05 %
ベンチマークリスク			11.73 %	15.01 %	15.20 %	16.41 %	18.05 %

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満(3か月間、6か月間)は、年率換算していません。

※ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入(再投資)し、算出しています。

※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆株式組入上位10業種

	業種名	ファンドの ウェイト	ベンチマークの ウェイト
1	電気機器	24.33 %	24.55 %
2	小売業	13.18 %	13.29 %
3	情報・通信業	12.51 %	12.62 %
4	医薬品	5.87 %	5.92 %
5	化学	5.77 %	5.82 %
6	サービス業	4.85 %	4.90 %
7	機械	4.62 %	4.67 %
8	輸送用機器	4.08 %	4.12 %
9	精密機器	3.44 %	3.47 %
10	卸売業	3.37 %	3.40 %

※ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

◆株式組入上位10銘柄(組入銘柄数 225銘柄)

	銘柄名	ファンドの ウェイト	ベンチマークの ウェイト
1	ファーストリテイリング	10.08 %	10.17 %
2	東京エレクトロン	5.99 %	6.05 %
3	アドバンテスト	5.12 %	5.16 %
4	ソフトバンクグループ	3.97 %	4.00 %
5	KDDI	2.60 %	2.63 %
6	リクルートホールディングス	2.26 %	2.28 %
7	TDK	2.08 %	2.10 %
8	信越化学工業	2.01 %	2.03 %
9	中外製薬	1.98 %	1.99 %
10	テルモ	1.85 %	1.87 %

※ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本小型株式ファンド ML

【特別勘定が投資する投資信託】

JDF日本小型株ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

ブラックロック・ジャパン株式会社

主要投資対象

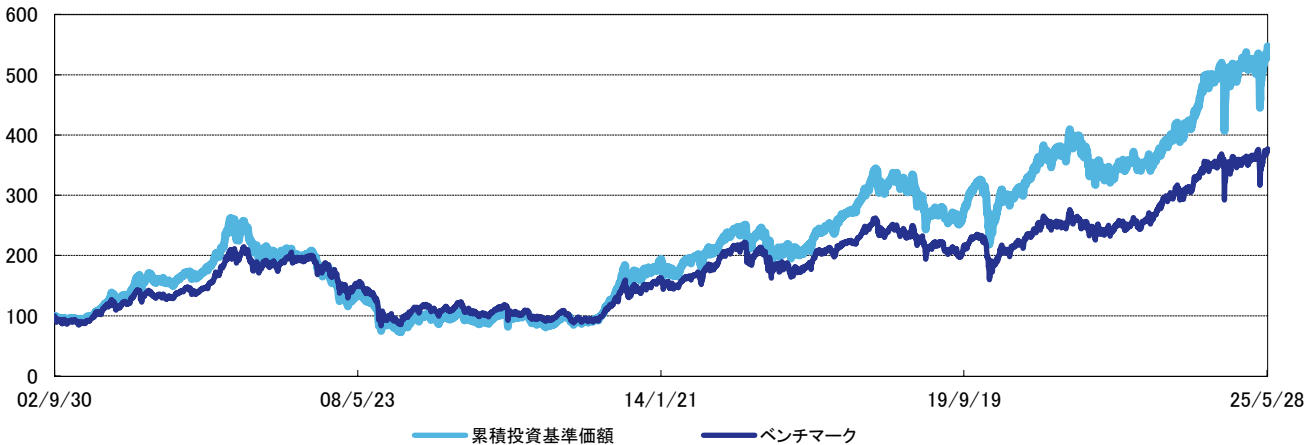
日本の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式。主に日本小型株マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

中小型株を中心に企業の収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して選定した銘柄を分散投資することによって、Russell/Nomura Mid-Small Cap(配当込み)を上回る投資成果を目指します。

2025年5月30日現在 マンスリーレポート

累積投資基準価額の推移



※ 設定時を100とした指数値を使用しています。

※ 累積投資基準価額は税引前分配金を再投資したものととして算出しています。

※ ベンチマークは、Russell/Nomura Mid-Small Cap Index(配当込み)です。2022年6月11日に、当ファンドのベンチマークを「Russell/Nomura Mid-Small Cap Index」より「Russell/Nomura Mid-Small Cap Index(配当込み)」に変更しました。このため、ベンチマークのデータは、設定時から2022年6月10日までの期間は「Russell/Nomura Mid-Small Cap Index」の指数値に基づき、2022年6月11日以降は「Russell/Nomura Mid-Small Cap Index(配当込み)」の指数値に基づき記載しています。

ファンドのパフォーマンス(%)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	5.60	7.82	5.78	10.27	61.65	82.41	447.36
ベンチマーク	4.26	4.96	7.13	6.76	55.69	80.24	277.56

※ ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものととして算出した累積投資基準価額により計算しています。
※ ベンチマークは、Russell/Nomura Mid-Small Cap Index(配当込み)です。2022年6月11日に、当ファンドのベンチマークを「Russell/Nomura Mid-Small Cap Index」より「Russell/Nomura Mid-Small Cap Index(配当込み)」に変更しました。このため、ベンチマークのデータは、設定時から2022年6月10日までの期間は「Russell/Nomura Mid-Small Cap Index」の指数値に基づき、2022年6月11日以降は「Russell/Nomura Mid-Small Cap Index(配当込み)」の指数値に基づき記載しています。

ファンドデータ

基準価額：54,736円

純資産総額：3.21億円

ファンド設定日：2002年9月30日

Russell/Nomura Mid-Small Cap Index とは

RUSSELL/NOMURA日本株インデックスの投資スタイルの中のひとつで、フランク・ラッセル・カンパニーと野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している株式の指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他の権利はフランク・ラッセル・カンパニーと野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、フランク・ラッセル・カンパニーと野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

税引前分配金

分配金	累計額	0円
第21期	2023年3月15日	0円
第22期	2024年3月15日	0円
第23期	2025年3月17日	0円

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本小型株式ファンド ML

【特別勘定が投資する投資信託】

JDF日本小型株ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

ブラックロック・ジャパン株式会社

主要投資対象

日本の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式。主に日本小型株マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

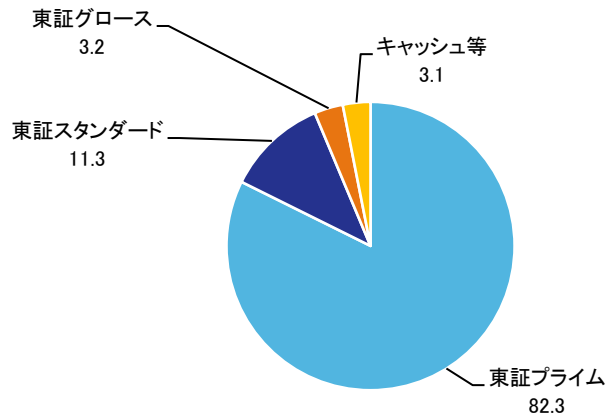
運用方針

中小型株を中心に企業の収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して選定した銘柄を分散投資することによって、Russell/Nomura Mid-Small Cap(配当込み)を上回る投資成果を目指します。

資産構成比率(%) *

商品名	比率
株 式	96.9
キャッシュ等	3.1
合 計	100.0

市場別組入比率(%) *



※非上場には新規上場予定銘柄(IPO)を含みます。

株式組入上位10業種(%) *

業種	比率
1 情報・通信業	11.4
2 化学	11.1
3 小売業	10.1
4 不動産業	6.4
5 機械	5.9
6 建設業	5.6
7 輸送用機器	5.6
8 電気機器	5.5
9 銀行業	5.4
10 陸運業	3.7

株式組入上位10銘柄(%) *

銘柄数 : 103			
銘柄名	業種	比率	
1 田岡化学	化学	2.6	
2 五洋建設	建設業	2.5	
3 中国塗料	化学	1.8	
4 TIS	情報・通信業	1.8	
5 熊谷組	建設業	1.7	
6 インターネットイシアティブ	情報・通信業	1.7	
7 三菱倉庫	倉庫・運輸関連業	1.6	
8 日本電気	電気機器	1.6	
9 SREホールディングス	不動産業	1.5	
10 光通信	情報・通信業	1.4	

* 比率は対純資産総額、マザーファンドベース。構成比率および組入比率(%)の数字は四捨五入の関係で合計が100にならない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本小型株式ファンド ML

【特別勘定が投資する投資信託】

JDF日本小型株ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

ブラックロック・ジャパン株式会社

主要投資対象

日本の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式。主に日本小型株マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

中小型株を中心に企業の収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して選定した銘柄を分散投資することによって、Russell/Nomura Mid-Small Cap(配当込み)を上回る投資成果を目指します。

月次コメント

1. 市場環境

5月の株式市場は、米関税協議の進展期待や米株高に加え、国内企業による株主還元策等が支えとなり上昇しました。上旬は企業決算において積極的な自社株買いや増配計画が好感されたほか、円安・ドル高の進行が株価上昇につながりました。中旬には米英間の貿易協定合意が好感された一方で円高・ドル安が上値を抑える展開となりました。下旬にかけては米欧間の関税協議進展期待やエヌビディアの好決算などから米株高が進み、日本株も連れ高となりました。結果としてTOPIXは5.0%の上昇となりました。他方で、一部のバイオ関連銘柄が相場を牽引した東証グロース市場250指数は10.1%の上昇となりました。

2. 運用経過

当月は、本決算での順調な業績進捗が好感された造船サービス会社、サイバー防御に関する法案成立による恩恵の享受が想起されたサイバーセキュリティ・ソフトウェア製品会社、本決算での順調な業績進捗が好感された半導体工場向けのアウトソーシングサービス会社などがプラスに貢献しました。一方で、株式の売り出しが嫌気された専門店小売り、本決算での市場期待を下回る新年度業績見通しが嫌気された都市型衣料品チェーンやドラッグストアなどがマイナスに影響しました。当ファンドでは、業績の再成長軌道への回帰が今後市場から好感されると判断したインターネット接続サービス提供会社、顧客への価格転嫁が進捗すると判断した物流会社、AI関連銘柄としての評価が進むと判断したデジタルサービス会社などを購入しました。一方で、本決算での株主還元強化で短期的な材料出尽くしと判断したTV放送会社、本決算での市場期待を下回る株主還元が嫌気されると判断した警備会社、本決算での市場期待を下回る業績進捗が嫌気されると判断した大手福利厚生サービスなどを売却しました。

3. 市場の見通し及び今後の運用方針

世界の株式市場で、追加利下げの回数を探る米国や欧州、逆に長期にわたるマイナス金利政策を撤廃し追加的な利上げ機会を探る日本の金融政策、景気刺激策を発表した中国や、「欧州再軍備」に向けて財政規律を緩和したドイツ等欧州の財政政策に関心が集まる中、世界各国で跛行色が出てきた金融・財政政策に注目しています。また、とりわけ、米国トランプ大統領の下での関税政策やそれが与える世界経済や企業業績への影響が大いに注目されます。引き続き日本経済に関しては、東証の低PBR改革など企業がバナンス改善期待などが継続する中、各社の株主還元策にどのような変化が生じるか、また、外部環境が不透明な中で発表された今期の業績見通しに対する今後の進捗に関心を寄せています。加えて、長期に渡るデフレ環境から脱却し、相対的に良好な業績が期待できる日本株に対する外国人投資家の再評価が今後進むかにも注目しています。そして、企業のファンダメンタルズについては、製造業を主とする外需企業において、新しいフロンティアとして注目を集めている生成AI技術の開発競争がエレクトロニクス業界に与える影響、米中対立や米国トランプ政権による関税政策が及ぼすサプライチェーンの再構築や、世界各国で広がる防衛関連予算増幅の行方等が注目されます。内需関連企業においても、生成AI技術の活用により革新的な発展を遂げる可能性がある企業に注目しています。また、日本では衆院選で与党が過半数の議席を獲得できず野党との協力体制を模索せざるを得ない現状において、いわゆる「103万円の壁」の引き上げ、高止まりを続けるコメ価格を中心とした物価高騰、2年連続での高水準の賃金上昇などを踏まえ、消費関連企業の利益創出力がいかに改善していくかに注目していきたいと考えています。更に、日本の金融政策も正常化していく中で金融セクターの業績が拡大していく可能性や、海外からのインバウンド旅行需要の継続的な拡大による恩恵を受ける内需関連企業の増加、かつては厳しい価格競争にさらされてきた土木・建設業界でも供給力に限界があることから採算重視の受注獲得を志向するようになっていくほか、半導体工場やAI向けデータセンター等のハイテク産業の積極的な投資による今後の需要拡大や利益率の改善が期待される等、従来は成長産業とはみなされていなかったような伝統的な産業でも大きな構造的な変化が進んでいる可能性があり注目しています。また、中期的には、少子高齢化や人口減少が進む日本にあって、生産性改善を目的とした企業再編やデジタル化への取り組みは、経済成長に必要不可欠であると考えています。特に投資家の注目度が低い中・小型株式市場は、潜在的な利益成長の可能性あるにもかかわらず、低位なバリュエーション水準に放置されている企業が散見される他、独自の成長を続けている企業も多く、依然として魅力的な投資対象であると考えています。引き続き、従来の価値観にとらわれることなく、産業構造や個別企業の「変化」にいち早く着目し、未だ市場において認識されていない高い成長の可能性を持つと考えられる銘柄を積極的に組み入れていきたいと考えています。

※「3. 市場の見通しおよび今後の運用方針」については、当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。また将来について保証するものではありません。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国株式インデックスファンド MS

【特別勘定が投資する投資信託】

インベスコ MSCIコクサイ・インデックス・ファンド

【運用会社】

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

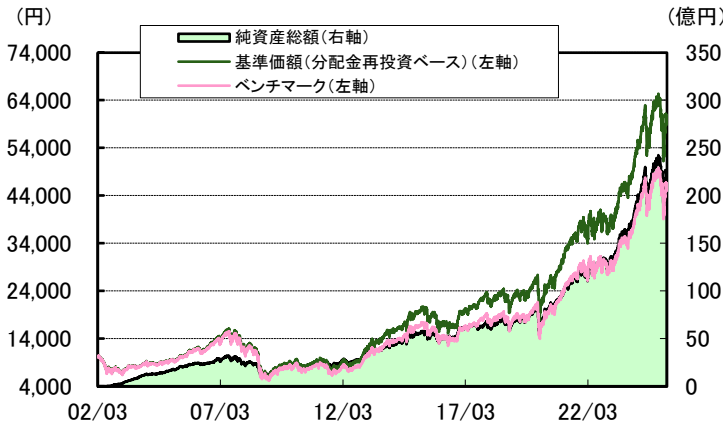
主要投資対象

日本を除く世界の先進国の株式。主にMSCIコクサイ・インデックス・マザーファンドを通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を除く世界先進国の株式に投資し、MSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)に連動した投資成果を目指します。

運用実績



*過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

*基準価額は税引前分配金再投資の基準価額です。

*基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は純資産総額に対して年率0.77%(税抜0.70%)です。

*ベンチマークは、簡便法(基準日前日のドル建指数を基準日のドル円TTMレートで評価する方法)で算出した後、ファンドの設定日のベンチマークと基準価額を同値として指数化しています。

*ベンチマークは2023年10月6日よりMSCI コクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)を使用しています。2023年10月5日まではMSCI コクサイ・インデックス(円換算ベース)を使用しています。

累積リターン

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来(月次)	設定来
ファンド	7.14%	-1.19%	-2.60%	4.52%	58.91%	156.37%	480.85%	502.40%
ベンチマーク	7.19%	-1.03%	-2.32%	5.27%	58.57%	151.86%	344.02%	-

*ファンドの累積リターンは、税引前分配金再投資により算出しています。信託報酬控除後のリターンです。

*ベンチマークの累積リターンは、ファンドの基準価額算出方法と同一基準(基準日前日の各外貨建資産を基準日の各通貨毎のTTMレートで評価する方法)で月次ベースでのみ算出しています。尚、2009年5月1日より日次ベースでの算出に変更しています。

組入株式上位10銘柄(マザーファンド)

	銘柄	名	国	名業	種	比率
1	NVIDIA		アメリカ	半導体・半導体製造装置		4.8%
2	MICROSOFT		アメリカ	ソフトウェア・サービス		4.6%
3	APPLE		アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器		4.2%
4	AMAZON.COM		アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り		2.7%
5	META PLATFORMS-A		アメリカ	メディア・娯楽		2.0%
6	BROADCOM		アメリカ	半導体・半導体製造装置		1.5%
7	TESLA		アメリカ	自動車・自動車部品		1.5%
8	ALPHABET INC-CL A		アメリカ	メディア・娯楽		1.4%
9	ALPHABET INC-CL C		アメリカ	メディア・娯楽		1.2%
10	JPMORGAN CHASE & CO		アメリカ	銀行		1.0%

*比率はマザーファンドの純資産総額対比で計算しています。

*業種はベンチマークで採用している分類に準じています。

基準価額・純資産総額

2025年5月30日現在

基準価額 60,240(円)

純資産総額 22,390(百万円)

*基準価額は信託報酬控除後です。

収益分配金の推移(直近4期)

	分配金
第20期 (2021.11.19)	0円
第21期 (2022.11.21)	0円
第22期 (2023.11.20)	0円
第23期 (2024.11.19)	0円
設定来累計	0円

*税引前分配金です。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

資産構成比率(マザーファンド)

株	式	95.6%
先物取引		4.0%
現金等		0.3%
銘柄数		1,172

*現金他の比率は、純資産総額から組入有価証券評価額を差し引いて算出していますので一時的にマイナスになることがあります。

※株式には、投資信託証券などが含まれます。

組入株式上位5カ国(マザーファンド)

	国	名純資産比率
1	アメリカ	72.4%
2	イギリス	3.8%
3	カナダ	3.2%
4	フランス	2.9%
5	ドイツ	2.7%

組入株式上位5業種(マザーファンド)

	業	種純資産比率
1	ソフトウェア・サービス	10.2%
2	半導体・半導体製造装置	8.8%
3	資本財	7.3%
4	金融サービス	7.2%
5	メディア・娯楽	6.7%

*業種はベンチマークで採用している分類に準じています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国株式インデックスファンド MS

【特別勘定が投資する投資信託】

インベスコ MSCIコクサイ・インデックス・ファンド

【運用会社】

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

主要投資対象

日本を除く世界の先進国の株式。主にMSCIコクサイ・インデックス・マザーファンドを通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を除く世界先進国の株式に投資し、MSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)に連動した投資成果を目指します。

運用環境

米国

5月の米国株式市場は上昇しました。月初、4月の米ISM非製造業景況感指数が前月比で大きく上昇したこと、4月の米雇用統計で雇用者数が堅調に増加したことなどが好感され、株式市場は上昇基調で推移しました。その後、米中両政府が追加関税の一部撤廃や大幅引き下げで合意し、米中通商摩擦激化への懸念が和らいだことを受け、株式市場は上昇の勢いを増しました。月末には、5月の米消費者信頼感指数が回復したこと、米国際貿易裁判所(CIT)がトランプ大統領による関税措置の差し止めを命じたことなどを背景に、株式市場は高値圏で推移し、月末を迎えました。

欧州

5月の欧州主要株式市場は上昇しました。大陸欧州では、月初、米政権が自動車部品の関税負担を軽減する措置を表明したことや、米英貿易協定が締結されたことなどが好感され、株式市場は上昇基調で推移しました。その後、トランプ大統領が欧州連合(EU)に対する高関税の発動期限延期を表明したことなどを背景に、株式市場は上昇して越月しました。英国では、月初、イングランド銀行(BOE)が政策金利を引き下げたことを受け、株式市場は堅調な展開となりました。その後、2025年1-3月期の実質GDPが前期比で大幅に増加したことなどが好感され、株式市場は上昇しました。

アジア

5月のアジア主要株式市場は上昇しました。香港株式市場は、米中両政府が90日間、それぞれの関税を大幅に引き下げることで合意したことなどが好感され、上昇しました。オーストラリアでは、月初、5月のウェストパック消費者信頼感指数が前月から大きく上昇したこと、4月の雇用統計で雇用者数が前月比で大幅に増加したことを受け、株式市場は上昇しました。日本では、米英が貿易協定を締結したこと、米中間での関税引き下げが合意されたこと、円安が好感されたことなどをを受け、株式市場は上昇しました。

今後の見通し

5月の世界の主要株式市場は、主に、①米中両政府が追加関税の一部撤廃や大幅引き下げで合意したこと、②米国が欧州連合(EU)に対する高関税の発動期限延期を表明したこと、③米国際貿易裁判所(CIT)がトランプ大統領による関税措置の差し止めを命じたことなどが好感され、上昇しました。世界主要株式市場は、引き続き、金利・インフレ動向、各中央銀行の金融政策、地政学リスクの台頭などを背景に、金融市場の変動性が高止まりする可能性があると考えています。中期的な観点では、インフレ圧力が落ち着くとともに、株式市場は緩やかに上昇すると見ております。

・ファンド・マネジャーのコメントは、将来の市場環境を保証するものではなく、このため、将来の投資成果等を保証するものではありません。 将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。本書は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性あるいは完全性は保証されていません。

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

アジア株式ファンドJP

【特別勘定が投資する投資信託】

GIMアジア株・アクティブ・オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

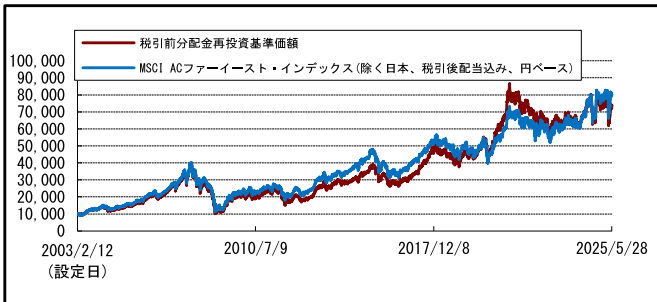
主要投資対象

主に日本を除くアジア各国の株式に投資するGIMアジア株・アクティブ・オープン・マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。

運用方針

主に日本を除くアジア各国の株式に投資し、MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)を上回る投資成果の獲得を目指します。

設定来の基準価額(税引前分配金再投資)およびMSCI ACファースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)の推移



- MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)は、設定日の前営業日を10,000として指数化しております。
- 上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は、信託報酬率年率1.10%+消費税で計算した信託報酬控除後の数値です。
- ※2024年8月14日に、当ファンドのベンチマークを「MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)」から「MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)」に変更しました。

ファンド情報

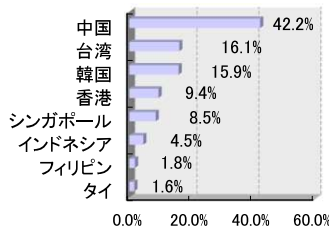
騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	10. 2%	-2. 8%	3. 0%	0. 1%	13. 6%	55. 4%	637. 0%
ベンチマーク	10. 2%	-1. 6%	6. 1%	8. 8%	32. 6%	76. 1%	702. 9%
基準価額	73, 700円			月中高値	(5月15日)	74, 709円	
				月中安値	(5月1日)	67, 903円	
株式等実質組入比率（「マザーファンド」）	96. 55%			コール・ローン等（「マザーファンド」）		3. 45%	
純資産総額	23. 83億円			組入銘柄数（「マザーファンド」）		42	
為替ヘッジ比率	0. 00%						

<分配金(税引前)の推移>

設定来合計	第12期 2014年11月	第13期 2015年11月	第14期 2016年11月	第15期 2017年11月	第16期 2018年11月
0円	0円	0円	0円	0円	0円
第17期 2019年11月	第18期 2020年11月	第19期 2021年11月	第20期 2022年11月	第21期 2023年11月	第22期 2024年11月
0円	0円	0円	0円	0円	0円

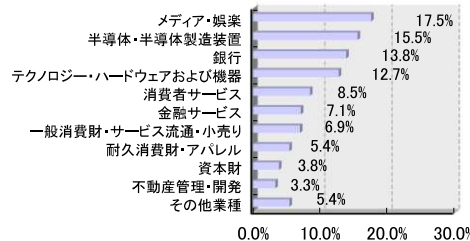
- 騰落率については、基準価額に税引前分配金を再投資したものととして計算しております。
- ベンチマークはMSCI ACファースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)を採用し、設定日の前営業日を基準値としております。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。
- 分配金は過去の実績であり将来の成果を保証しません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の直上がりの方が小さかった場合も同様です。

国(地域)別構成比率(マザーファンド)



- 国(地域)別については、MSCI分類に基づき分類しておりますが、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。
- 比率は組入株式等を100%として計算しております。

業種別構成比率(マザーファンド)



- 業種については、GICS分類に基づき分類しておりますが、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。
- 比率は組入株式等を100%として計算しております。

商品概要

- 信託期間：無期限
- 決算日：原則11月15日(休業日の時は翌営業日)
- 当初設定日：2003年2月12日

・MSCI ACファースト・インデックスは、MSCI Inc. が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc. は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc. に帰属しております。MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)は、同社が発表したMSCI ACファースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。

組入上位10銘柄(マザーファンド)

(2025年4月30日現在)

銘柄	国(地域)別	業種	比率
1 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	台湾	半導体・半導体製造装置	9.6%
2 TENCENT HOLDINGS LIMITED	中国	メディア・娯楽	8.8%
3 ALIBABA GROUP HOLDING LIMITED	中国	一般消費財・サービス流通・小売り	7.2%
4 SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.4%
5 HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	香港	金融サービス	4.1%
6 NETEASE INC	中国	メディア・娯楽	3.4%
7 XIAOMI CORPORATION-CLASS B	中国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.1%
8 AIA GROUP LTD	香港	保険	2.9%
9 PT BANK CENTRAL ASIA TBK	インドネシア	銀行	2.9%
10 SK HYNIX INC	韓国	半導体・半導体製造装置	2.5%

- 株式組入上位10銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 国(地域)別については、MSCI分類に基づき分類しておりますが、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。
- 業種については、GICS分類に基づき分類しておりますが、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。
- 比率は対純資産で計算しております。

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国債券ファンド PJ

【特別勘定が投資する投資信託】
ビムコ・海外債券ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】
ビムコジャパンリミテッド

主要投資対象

日本を除く世界各国の各種公社債。

運用方針

主に世界各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

[追加型証券投資信託／ファンドオブファンズ]

[基準価額] 25,089 円

[設定日]

2002年9月24日

[決算日]

毎年9月25日

1. パフォーマンス

(円)



騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年	設定来
ファンド*	1.06%	-0.11%	-0.58%	-1.80%	6.20%	4.14%
ベンチマーク**	0.99%	-0.12%	-0.87%	-1.39%	6.01%	3.74%
超過収益	0.07%	0.01%	0.29%	-0.41%	0.19%	0.40%

*信託報酬控除後、1年を超える期間は年率換算してあります。

**2022年12月15日以降はFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)。

それ以前は、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)90%、ICE BofA TONAR オーバーナイトレートインデックス10%を合成したものを使用しています。

分配実績

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期			
日付	03/09/25	04/09/27	05/09/26	06/09/25	07/09/25	08/09/25	09/09/25	10/09/27	11/09/26	12/09/25			
金額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円			
	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	累計
日付	13/09/25	14/09/25	15/09/25	16/09/26	17/09/25	18/09/25	19/09/25	20/09/25	21/09/27	22/09/26	23/09/25	24/09/25	-
金額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

PIMCO

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】 外国債券ファンド PJ

【特別勘定が投資する投資信託】
ビムコ・海外債券ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】
ビムコ ジャパン リミテッド

主要投資対象

日本を除く世界各国の各種公社債。

運用方針

主に世界各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

2. ファンド特性

【ファンドの一般的特性】

平均クーポン	3.59%
平均直接利回り	3.80%
平均最終利回り	3.99%
平均デュレーション(年)	6.84
平均償還期間(年)	11.12
平均格付け*	AA
債券組入比率	99.28%

*平均格付けとは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

【国別配分】

国名	組入比率
アメリカ	38.91%
ユーロ圏	30.49%
イギリス	13.00%
中国	9.20%
オーストラリア	2.94%
カナダ	2.60%
デンマーク	0.76%
その他	2.11%
合計	100.00%

【格付構成比】

格付	組入比率
AAA	0.00%
AA	79.48%
A	10.45%
BBB	9.99%
BB以下	0.08%
A1/P1	0.00%
A2/P2	0.00%
合計	100.00%

【種類別配分】

セクター名	組入比率
国債、エージェンシー債	69.62%
モーゲージ債、アセットバック債	23.85%
社債	5.19%
キャッシュ等*	1.34%
合計	100.00%

*「キャッシュ等」にはCP等も含まれます。

3. 運用担当者のコメント

《市場コメント》

米国債券相場は、月前半、4月の非農業部門雇用者数やISM(米供給管理協会)非製造業総合景況指数が市場予想を上回ったことから、米国景気の底堅さが意識され、下落しました。月半ばにおいては、米国債が格下げされたことや米中間において115%の関税引き下げが合意されたことなども、相場の下押し要因となりました。月末にかけては、関税交渉の進展が遅いEU(欧州連合)に対して50%への関税引き上げが示唆される等、関税政策の不確実性が改めて意識されたほか、失業保険の新規申請件数等が市場予想を上回ったことを受けて、景気後退の懸念が高まったことから上昇したものの、月を通じてみると米国債券相場は下落しました。(2年債利回りは前月比0.29%上昇、10年債利回りは前月比0.24%上昇しました。)欧州債券相場は、月前半、4月のユーロ圏コアCPI(消費者物価指数)が市場予想を上回ったことに加え、米英間において貿易協定が締結されたことや米中間の貿易交渉において関税の大幅引き下げが合意されるなど、景気減速に対する過度な懸念が後退したことから、下落しました。その後は、5月サービス部門PMI(購買担当者景気指数)が市場予想を下回るなど景気減速リスクが改めて意識されたことに加え、米トランプ大統領がEUに対し50%への関税引き上げを示唆したことを受け、貿易摩擦への警戒感が再燃したことなどから、欧州債券は買い戻される展開となり、月を通じてみると、欧州債券相場は上昇しました。(2年債利回りは前月比0.09%上昇、10年債利回りは前月比0.06%上昇しました。)英国債券相場は、月前半、BOE(イングランド銀行)が市場の予想通り政策金利の引き下げを実施したものの、米英間において貿易協定が締結されたことや米中間の貿易交渉において関税の大幅引き下げが合意されたことを受け、景気減速に対する過度な懸念が後退したことから、大きく下落する展開となりました。その後も、4月のCPIや小売売上高が市場予想を上回るなど堅調な経済指標の発表が続いたことから、景気減速懸念が和らぐなか、上値の重い展開が続きました。月を通じてみても、英国債券相場は下落しました。(2年債利回りは前月比0.22%上昇、10年債利回りは前月比0.21%上昇しました。)日本債券市場では、月前半、米中間の関税協議の進展への期待を背景に投資家心理が改善したことから、株式などのリスク資産が買われる一方、安全資産である国債などは売られる展開となり、相場は下落しました。月後半にかけても、米中間において関税の大幅引き下げが合意されたことや、米国貿易裁判所がトランプ政権の関税政策の多くを違法と判断したことを受け、米国の関税政策に伴う景気減速懸念が緩和されたことから、上値の重い展開が続き、月を通じてみると、日本債券相場は下落しました。(2年債利回りは前月比0.06%上昇、10年債利回りは前月比0.18%上昇しました。)

《パフォーマンス》

先月のパフォーマンスはプラス1.06%となり、ベンチマークを0.07%上回りました。英国やオーストラリアの金利リスクを多めにしたことがマイナスに寄与した一方、米国の政府系モーゲージ債への投資や欧州における金利リスクを少なめにしたことがプラスに寄与しました。

《今月の運用方針》

保護主義的な政策と財政支出の削減を背景に米国の景気が減速する一方、金融環境の緩和や財政政策の拡大を背景に米国以外の主要国では安定した経済成長が見込まれ、米国経済だけが強いこれまでの状況が変化する見通しです。主要国のインフレ率は、金融危機後の平均を上回る水準で推移する可能性はあるものの、中央銀行の目標水準に近づいており、主要国では年内に50~100bpsの追加利下げが実施されると予想しています。米国については、関税の引き上げや、政府機関の縮小、移民の制限などの大胆な政策により、経済成長が明確に弱まるリスクが存在します。過去数年間、年2.5~3%で推移してきた実質GDP(国内総生産)成長率は、2025年は前年比+0.7%程度まで落ち込むと予想しています。企業が関税コストを価格転嫁することによりインフレが押し上げられ、FRB(米連邦準備制度理事会)の政策目標である2%への回帰が遅れることも十分に考えられます。FRBはインフレの上昇リスクと景気の減速リスクにより難しい政策運営を強いられるものの、年内に50bpsの利下げをすると予想しています。ユーロ圏については、貿易に関する不確実性が成長率の下押し要因として残るものの、防衛やインフラに関する財政措置が下支えとなる見通しです。貴金の伸びのさらなる鈍化などを背景に、インフレは引き続き政策目標水準に収れんしていくと予想しています。ECB(欧州中央銀行)は今後も慎重な利下げを継続し、最終的な政策金利水準は1.5%程度になるとみています。ファンドの運用に際しては、他主要国対比で投資妙味が高いと考えられる英国やオーストラリアの金利リスクを多めにする一方、米国やユーロ圏の金利リスクを少なめとし、全体では金利リスクを前月に比べて積み増しました。セクター戦略については、政府保証等により高い健全性を維持している政府系モーゲージ債やリスクを考慮しても魅力的な利回りを提供すると考えられる証券化商品などに選択的に投資します。

* 将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

市況データ出所: ブルームバーグ

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】 外国債券インデックスファンド TMY

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 外国債券ファンドVA2（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本を除く世界主要国の公社債。主に外国債券インデックスマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

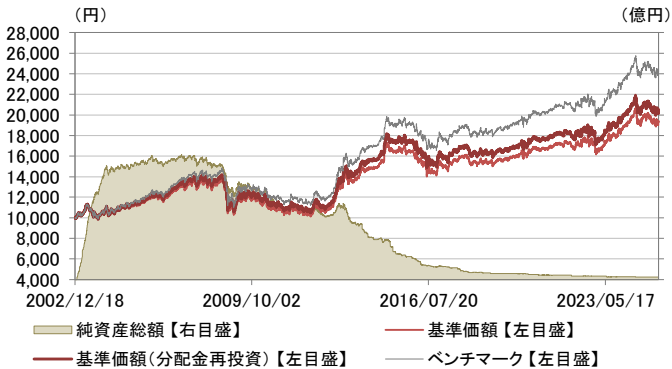
運用方針

主に日本を除く世界主要国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）に連動する投資成果の獲得を目指します。

■商品概要

主要投資対象	外国債券インデックスマザーファンド受益証券（外国の公社債に直接投資することもあります。）
運用方針	①外国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース））に連動する投資成果を目指して運用を行います。2021年11月末基準より外国債券部分に係るベンチマークをFTSE Fixed Income LLCより提供されている円ベースの指数から当社で円換算した指数に変更しました。 ②外国債券インデックスマザーファンドは、日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。 ③日本を除く世界主要国の公社債に直接投資することもできます。 ④外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市況動向等の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。
設定日	2002年12月8日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額（基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.5%	-0.3%	-1.5%	-2.5%	12.4%	104.0%
ベンチマーク	0.5%	-0.3%	-1.1%	-1.9%	14.9%	141.5%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

■組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	45.4%
2 中国	11.3%
3 フランス	7.7%
4 イタリア	6.9%
5 イギリス	5.6%
6 ドイツ	5.3%
7 スペイン	4.7%
8 カナダ	1.9%
9 ベルギー	1.6%
10 オランダ	1.3%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）は、FTSE世界国債インデックス（除く日本）をもとに、委託会社が計算したものです。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	19,277円
前月末比	+99円
純資産総額	0.23億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第23期	2025/02/20	0円
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
第18期	2020/02/20	0円
設定来累計		730円

■資産構成

	比率
実質外国債券	99.0%
内 現物	99.0%
内 先物	0.0%
コールローン他	1.0%

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	3.4%
直接利回り	2.9%
デュレーション	6.2

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.8%
1～3年	27.8%
3～5年	21.0%
5～7年	13.4%
7～10年	13.6%
10年以上	22.3%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 951銘柄					
銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1 4.5 T-NOTE 270515	国債	4.5000%	2027/05/15	アメリカ	0.7%
2 4.375 T-NOTE 270715	国債	4.3750%	2027/07/15	アメリカ	0.7%
3 1.625 T-NOTE 310515	国債	1.6250%	2031/05/15	アメリカ	0.6%
4 3.5 T-NOTE 290930	国債	3.5000%	2029/09/30	アメリカ	0.5%
5 1.875 T-NOTE 320215	国債	1.8750%	2032/02/15	アメリカ	0.5%
6 4.25 T-NOTE 341115	国債	4.2500%	2034/11/15	アメリカ	0.5%
7 1.625 T-NOTE 290815	国債	1.6250%	2029/08/15	アメリカ	0.5%
8 1.25 T-NOTE 310815	国債	1.2500%	2031/08/15	アメリカ	0.5%
9 1.375 T-NOTE 311115	国債	1.3750%	2031/11/15	アメリカ	0.5%
10 3.875 T-NOTE 340815	国債	3.8750%	2034/08/15	アメリカ	0.5%

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネー MA

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱 MRF (マネー・リザーブ・ファンド)

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、コマーシャル・ペーパーを主要投資対象とします。

運用方針

主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、CP等の短期金融商品に投資することによって、安定した収益の確保を目指します。

■ファンドの特色

信用度が高く、残存期間の短い内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。

■資産構成

	評価金額(円)	比率
公社債	1,199,046,908	2.4%
(うち固定債)	(1,199,046,908)	2.4%
(うち変動利付債)	(0)	0.0%
短期金融資産	49,520,948,200	97.6%
(うちコールローン)	(23,447,000,000)	46.2%
(うちCD)	(0)	0.0%
(うちCP)	(0)	0.0%
(うち現先・レポ)	(26,073,948,200)	51.4%
(うち割引手形)	(0)	0.0%
その他資産	329,693	0.0%
純資産総額	50,720,324,801	100.0%

・公社債は、国債、地方債券、特殊債証券を除く。
・固定債：変動利付債以外の債券。
・CD等は、CD、コールローン(国債等を担保とする有担保コールを除く)、指定金銭信託等。
・その他資産は、指定金銭信託、未収金、未払金等。

■ファンド概況

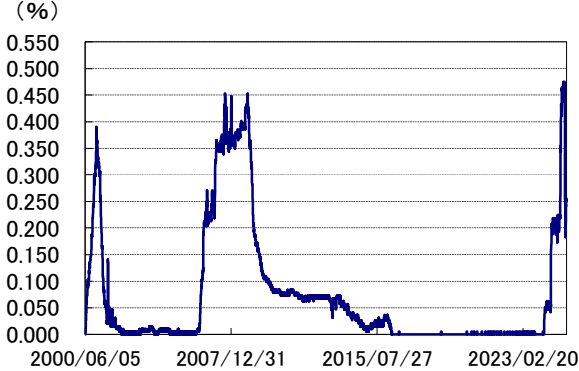
基準価額(1万口当たり)	10,000円
純資産総額	507.20億円

■ポートフォリオ特性

平均残存日数	4.7日
組入銘柄数	7

・組入銘柄数は一部買現先を含みます。

■直近7日間の年換算利回りの推移



■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 7銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1 第1244回国庫短期証券	国債	0.0000%	—	24.4%
2 第1270回国庫短期証券	国債	0.0000%	—	19.7%
3 第1292回国庫短期証券	国債	0.0000%	—	7.3%
4 第1303回国庫短期証券	国債	0.0000%	2025/08/04	0.6%
5 第1305回国庫短期証券	国債	0.0000%	2025/08/12	0.6%
6 第1306回国庫短期証券	国債	0.0000%	2025/08/18	0.6%
7 第1308回国庫短期証券	国債	0.0000%	2025/08/25	0.6%
8 —	—	—	—	—
9 —	—	—	—	—
10 —	—	—	—	—

■債券種別比率

種別	比率
国債	53.8%

・組入上位10銘柄、債券種別比率は一部買現先を含みます。償還日「—」の銘柄は現先取引分です。
・同一銘柄の債券現物と現先が混在する場合、合算して表示し、償還日は現物の償還日を表示しています。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。